



西河原小だより

茨木市立西河原小学校
校 長 井上 智弘

2月に実施いたしました学校教育自己診断についてその結果をお知らせいたします。(保護者の皆様からの回収率は95.4%でした。ご協力ありがとうございました。)肯定的な回答の割合とは質問に対して1とても思う 2思うと回答した合計の全体に対する割合を示しています。否定的な回答の割合とは質問に対して3思わない 4わからないと回答した数と無回答の数の合計の全体に対する割合を示しています。おおよそ肯定的な回答の割合が80%を超えているか、いないかを一つの基準として考え、ご報告させていただいています。ご了承ください。この診断からは学校における「いじめのない学校づくり」や人権教育、道徳教育の充実が喫緊の課題であることがはっきりしました。新年度に向けて学校体制で取り組んでいきます。そして同時に学級集団づくり、授業における学習集団づくりの中で子どもたちをしっかりとつなぎ、思いやりや規範意識、学力を育んでいきたいと考えています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。児童の実施結果は裏面に載せています。よろしくお願いいたします。

H29.2 実施 茨木市立西河原小学校 学校教育自己診断 保護者様 実施結果

	123年 保護者様		456年 保護者様		全学年 保護者様		考 察
	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	
1 学校は教育方針などを学校だよりやホームページでわかりやすく伝えている。	89.2%	10.8%	91.0%	9.0%	90.1%	9.9%	前回より9%アップ HPの更新回数を大幅に増やし、教育活動を紹介するなかで教育方針等を繰り返し発信していることが理解されている部分がありますが、さらにしっかりと伝えていきたいと考えています。HPの閲覧等よろしくお願いいたします。
2 学校は保護者・地域の願いに応えようとしている。	85.3%	14.7%	87.0%	13.0%	86.1%	13.9%	前回より3%アップ HPや地域の会合等で学校の様子や取り組みを紹介してきました。PTAの会合ではできるだけ保護者からの学校に対する信頼を得るため、交流をしてきました。今後もPTAや地域の会議、懇談などを通じて保護者・地域のニーズをつかんでいこう努めます。
3 学校は家庭への連絡などをきめ細かく行っている。	79.4%	20.6%	83.0%	17.0%	81.2%	18.8%	個別の連絡について、より細やかに電話連絡・家庭訪問等することで改善を図っていきます。
4 学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	69.6%	30.4%	69.0%	31.0%	69.3%	30.7%	前回より13%ダウン 人権教育、道徳教育の推進を全校体制で行いつつ、家庭との連携を密にし、「いじめのない学校づくり」に取り組めます。また、学級での取り組みの様子などもお伝えしていきたいと考えています。
5 学校は自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	73.5%	26.5%	71.0%	29.0%	72.3%	27.7%	9%ダウン 人権教育・道徳教育・キャリア教育の推進を学校としてしっかり取り組んでいきます。
6 学校は命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている。	78.4%	21.6%	81.0%	19.0%	79.7%	20.3%	人権教育を大切に、自らの命、他の人の命を守ることで子どもを育てていきます。同時に学習規律や集団(社会)の中でのルールをしっかりと考え、守ることができる子どもを育てよう努めます。
7 学校は子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	73.5%	26.5%	69.0%	31.0%	71.3%	28.7%	人権教育など実施する内容を学年通信からもより詳しく発信していくよう努めます。
8 学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	92.2%	7.8%	91.0%	9.0%	91.6%	8.4%	適正な回数と機会を維持していきます。
9 学校は子どもが保護者や地域の方々と交流する機会を設けている。	95.1%	4.9%	89.0%	11.0%	92.1%	7.9%	今後も適正な回数と機会を維持していきます。ご協力よろしくお願いいたします。
10 学習内容などを、学年だよりや懇談などによって知ることができる。	92.2%	7.8%	92.0%	8.0%	92.1%	7.9%	引き続き学年だよりなどに定期的に記載していきます。
11 運動会などの学校行事は、子どもが意欲的に参加できるように工夫されている。	85.3%	14.7%	86.0%	14.0%	85.6%	14.4%	業務改善のことも考慮しながらも、子どもの実態に合わせた質の高い行事を今後も実施していきたい。
12 災害時の対応について、児童や保護者にその際の訓練が行われ、周知されている。	81.4%	18.6%	78.0%	22.0%	79.7%	20.3%	今年度は引き渡し訓練を実施し、より伝わっているものと考えていましたが、学校での取り組みと家庭での認識の差を感じました。訓練等も含め、子どもたちによる家庭での確認の工程も入れるなどして、周知に努めていきます。
13 学校の施設・設備の学習環境面では満足している。	80.4%	19.6%	80.0%	20.0%	80.2%	19.8%	3%アップ(大規模修理) 安全面を優先に校内整備に努めていきます。
14 先生は子どもの能力や達成度を適正に評価している。	83.3%	16.7%	92.0%	8.0%	87.6%	12.4%	今後も適正な評価を心がけていきます。
15 あゆみには子どもの学力や達成度がわかりやすく書かれている。	75.5%	24.5%	82.0%	18.0%	78.7%	21.3%	各教科等の評価について、できるだけ詳しく伝えていく方向で検討していきます。
16 先生は子どものことについての相談に応じてくれる。	84.3%	15.7%	92.0%	8.0%	88.1%	11.9%	今後も担任を中心にして、相談窓口を広げて保護者との関係づくりに努めていきます。
17 先生は子どもをよく理解してくれている。	74.5%	25.5%	82.0%	18.0%	78.2%	21.8%	低学年から丁寧に保護者と教職員の子ども理解をすすめ、共有し、課題への見立て、方策などを連携して取り組むようにしていきます。
18 子どもは授業がわかりやすいと言っている。	78.4%	21.6%	82.0%	18.0%	80.2%	19.8%	学力についての課題に向かい合い、かつ子どもの特性や学習集団づくりへの理解を教職員間で共有し、つまづきなどの相互理解をよりすすめ、家庭とも連携し、家庭学習や補充学習の協力を得て普段の授業の中での理解が進むように努めていきます。
19 子どもは学校へ行くのを楽しんでいる。	88.2%	11.8%	80.0%	20.0%	84.2%	15.8%	学校の様々な場所や人が発達段階において多感な子どもたちの居場所につながるように、意識して取り組んでいきたい。学力面でも従来通り、きめ細やかな支援を継続し、できるだけ多くの子もたちが楽しく生活できる学校であるように努めます。
20 子どもはあいさつができる	79.4%	20.6%	88.0%	12.0%	83.7%	16.3%	あいさつができる人になってほしいという強い願いは学校・家庭・地域共通です。連携して粘り強く取り組みます。
21 3,4,5,6年のみ コース別算数授業 子どものペースに合っているようだ。	90.9%	9.1%	88.0%	12.0%	88.7%	11.3%	コース分けを単元ごとに行っていて、じっくり学習したい単元を選択できるなど工夫しています。
22 3,4,5,6年のみ コース別算数授業 学習意欲が向上してきたようだ。	75.8%	24.2%	70.0%	30.0%	71.4%	28.6%	学習に苦手意識のある児童に自信をつけさせ、学習の面白さを感じさせることが課題です。子ども同士の学び合い、ペア学習、グループ学習・発表を通じて学習集団づくりに取り組み、学習意欲を高めていきます。その上で、より家庭での学習支援をお願いしたいと考えています。よろしくお願いいたします。
23 3,4,5,6年のみ コース別算数授業 丁寧な指導にわかりやすいと言っている。	84.8%	15.2%	80.0%	20.0%	81.2%	18.8%	概ね良好な回答が得られていますが、少しでも「わかりやすい」といつてくれる子どもたちの数が増えるように努めます。
24 4, 5, 6年のみ 子どもはクラブ活動を楽しみにしている。			89.0%	11.0%	89.0%	11.0%	引き続きクラブ活動の充実を図っていきます。

H29.2 実施 茨木市立西河原小学校 学校教育自己診断 児童実施結果

1, 2年生に関しては良好な結果が得られていますので、中学年から高学年にかけての成果及び課題・方策案を書かせていただいています。ご了承ください。	1, 2年 児童		3, 4年 児童		5, 6年 児童		3, 4, 5, 6年 児童		考 察
	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	
1 あいさつをすることができる。	98.6%	1.4%	93.8%	6.2%	97.3%	2.7%	95.7%	4.3%	良好な結果です。 高学年は状況に応じた対応ができる力を育みたいと考えています。
2 しっかり話(はなし)を聞(き)くことができる。	100.0%	0.0%	78.5%	21.5%	91.8%	8.2%	85.5%	14.5%	聞く意識は高いので、さらに自分の話を聞いてもらう喜びを体感して、聞くことの大切さを実感させたい。
3 ともだちとなかよくしている。	94.5%	5.5%	95.4%	4.6%	93.2%	6.8%	94.2%	5.8%	トラブルなど日常的にあるものの、仲良くできているという意識をもっている。
4 夢(ゆめ)や目標(もくひょう)をもっている。	94.5%	5.5%	87.7%	12.3%	78.1%	21.9%	82.6%	17.4%	全国学力調査(85. 3)より高学年で意識が低い。常に目的意識をもたせるような言葉かけを心がけたい。
5 (算数コース別授業)手を挙(あ)げやすい、発言(はつげん)しやすいなどやる気になった。			81.5%	18.5%	61.6%	38.4%	71.0%	29.0%	発問が府の形式のため、「手をあげる」「みんなの前で発言する」ことに対して高学年で低い結果となりましたが、ペアでお互いの意見を発表したり、学び合う授業づくりに取り組んでいきたい。
6 (算数)自分のペースに合(あ)っているので、理解(りかい)しやすいになった。			89.2%	10.8%	82.2%	17.8%	85.5%	14.5%	子どもたちが学びやすい授業環境を今後も実現させていきたい。
7 (算数)あきらめずに問題(もんだい)を解(と)くようになった。			90.8%	9.2%	78.1%	21.9%	84.1%	15.9%	あきらめずに解く学習の体力の改善に今後も取り組んでいきたい。
8 児童(じどう)会(かい)や委員会(いいんかい)活動(かつどう)、またはクラブ活動に意欲的(いようくてき)に取(と)り組(く)んでいる。			87.7%	12.3%	90.4%	9.6%	89.1%	10.9%	児童の自主性を重んじた取組として定着している
9 地域行事(ちいきぎょうじ)に参加(さんか)している。			87.7%	12.3%	78.5%	21.5%	75.3%	24.7%	76.8%
10 先生(せんせい)は私(わたし)たちの話(はなし)を聞(き)いてくれる。	97.3%	2.7%	96.9%	3.1%	87.7%	12.3%	92.0%	8.0%	子どもの教師との関係は良好であるが、定期的な懇談の場も設けていきたい。
11 先生(せんせい)にはいろんなことを相談(そうだん)できる。	94.5%	5.5%	81.5%	18.5%	64.4%	35.6%	72.5%	27.5%	中学年に比べて、高学年で教員に相談できない状況が生じている。児童同士のトラブルが見えにくく、仲間はずしの対象がグループの中で変わっていくなど生徒指導事案が複雑化している。特に被害加害の関係が双方にあるケースが増えてきており、相談しにくくなっている。学校は日頃からしっかり児童の様子を観察し、変化に気づき、声かけができるようにしていきたい。
12 先生(せんせい)は、いじめなど私(わたし)たちが困(こま)っていることについていっしょに考(かんが)えてくれる。	97.2%	2.8%	90.8%	9.2%	74.0%	26.0%	81.9%	18.1%	中学年から高学年にかけて、児童間トラブルが複雑化し、関係を調整したり、距離を置いたりしなければならない例が増えてきた。子どもの発想にない解決方法についてもしっかり学ばせていきたい。。
13 先生(せんせい)は教(おし)えるときコンピューターやテレビ、ホワイトボードなどを使って工夫(くふう)をしている。	98.6%	1.4%	90.8%	9.2%	91.8%	8.2%	91.3%	8.7%	教員の授業準備、授業の工夫については、児童は日頃から実感している。
14 先生(せんせい)は、自分(じぶん)が努力(どりよく)したことを認(みと)めてくれる。	95.9%	4.1%	90.8%	9.2%	76.7%	23.3%	83.3%	16.7%	指導しなくてはならないことが高学年は増えるに伴い、一層ほめることを意識しなければならないが・・・
15 授業(じゅぎょう)ではめあてをかくにんして、さいごにはふりかえりをする。	90.4%	9.6%	87.7%	12.3%	93.2%	6.8%	90.6%	9.4%	授業のめあて確認、ふりかえり、の授業の流れは学校全体で取組みが進んでいる。(全国平均より高い)
16 授業(じゅぎょう)で自分(じぶん)で考(かんが)える時間がある。	91.8%	8.2%	93.8%	6.2%	94.5%	5.5%	94.2%	5.8%	問題解決的な学習が進められ、自力解決の時間をしっかり確保されている。
17 授業(じゅぎょう)ではほかのひとと考えを交流したり、考(かんが)えを発表(はっぴょう)することがある。	95.9%	4.1%	90.8%	9.2%	86.3%	13.7%	88.4%	11.6%	ペア学習やグループワークなど定着してきている。
18 授業(じゅぎょう)でわからないときに、ペアやグループで相談(そうだん)したり、先生(せんせい)に質問(しつもん)したりしやすい。			83.1%	16.9%	78.1%	21.9%	80.4%	19.6%	わからないときに安心してわかからないといえる教室にしていきたいと考えています。支援してくれる仲間や先生がいて、そこにあきらめずに頑張ることができる自分がいるという形に
19 「あゆみ」を見(み)て学習(がくしゅう)の様子(ようす)がよくわかる。			87.7%	12.3%	80.8%	19.2%	84.1%	15.9%	何がわかりにくいのかなど保護者や児童の声を聴きながら、あゆみの見方やどのように評価するのかなど説明に向けて準備していきたい。
20 命(いのち)の大切(たいせつ)さや学校(がっこう)や社会(しゃかい)のきまりについて学(まな)んでいる。	97.3%	2.7%	86.2%	13.8%	86.3%	13.7%	86.2%	13.8%	命の学習など取組みは学校体制でおこなっている。
21 自分(じぶん)を大切(たいせつ)にすることや、ともだちや他人(たにん)への思(おも)いやりについて学(まな)んでいる。	97.3%	2.7%	92.3%	7.7%	86.3%	13.7%	89.1%	10.9%	繰り返し繰り返し、児童に語りかけることを継続していきたい
22 災害(さいがい)などが起(お)こったとき、どうしたらよいか教(おし)えてもらっている。	100.0%	0.0%	86.2%	13.8%	89.0%	11.0%	87.7%	12.3%	防災教育については100%目指して取り組んでいきたい。常に子どもたちに意識させていきたい。
23 えんそくやうんどうかいなどの学校(がっこう)行事(ぎょうじ)は楽(たの)しい。	97.3%	2.7%	96.9%	3.1%	84.9%	15.1%	90.6%	9.4%	行事はただ楽しいというものはない中で90%以上の子どもたちが楽しいと回答してくれている。今後も様々な目標に向けて取り組む行事の中でしっかりと達成感を感じることができる形にこだわっていきたい。
24 大人になったときの職業(仕事)について考える機会がある。			69.2%	30.8%	78.1%	21.9%	73.9%	26.1%	キャリア教育 特に進路や職業、夢についての意識付けについて、子どもたちにわかる形で取り組んでいきたい。また、従来通り出前授業を活用したり、調べ学習をししたりして取り組んでいきたい。